

元気応援
EVENT
MANUAL 2025



「熱中症対策アンバサダー講座」を受講して 薬局から熱中症対策を伝えよう

今年度は「薬局へ行こう！ウィーク」期間中の活動として「熱中症対策」を呼びかける活動を推進します。この度、大塚製薬株式会社主催・株式会社クラス A ネットワーク協力による「熱中症対策アンバサダー講座（オンデマンドによる講義）」を開催します。熱中症対策の啓発・普及活動をおこなう際に必要な知識を学んでいただくことができ、修了された方は「熱中症対策アンバサダー」として認定されます。

■熱中症対策アンバサダーの 活躍フィールドの一例

健康セミナー・地域イベント、運動会・スポーツ競技会や子どもや高齢者への声かけなど



■受講資格

どなたでも受講いただけます。

■受講料

無料（修了後の更新は不要（無期限））

■提供されるツール

- 専用スライド（PPT形式）



監修：中京大学松本孝朗教授
一般・学校・職場・シニアの4パターンあり
※イメージです

●修了証

※アンバサダーマイページよりダウンロードできます





熱中症対策アンバサダー®講座

本講座は右記団体の協力を得て開催します：株式会社クラスAネットワーク

【オンデマンドによる講義】

- 応募開始日：2025年04月01日（火）09:00
- 応募締切日：2025年09月30日（火）23:59
- 定員数：1000名様

実施内容

お申し込み後、受講番号とオンデマンド講義のURLをメールにてお知らせします。メールのご受信後、2週間以内に講義I・II・トピックス全ての視聴を終えてください。

オンデマンド

講義 PART 1 熱中症とは 大塚製薬株式会社

オンデマンド

講義 PART 2 熱中症にならないために 大塚製薬株式会社

オンデマンド

トピックス①「熱中症対策 ～近年の傾向と環境省の取組～」 環境省

トピックス②「トピックス研修 ～主として自治体職員の方々向けの情報提供～」 独立行政法人環境再生保全機構

確認テスト

熱中症対策アンバサダーの認定には、当講座を受講し、確認テストに合格する必要があります。講義I・II・トピックスの視聴確認がとれましたら、確認テストのご案内をメールにてお知らせいたします。確認テストの有効期限は全動画の視聴完了時間より2週間となります。それまでに確認テストを完了（受講・合格）ください。

お申し込み方法

下記のURLもしくは二次元コードよりアクセスし、お申込みください。

<https://nccx.otsuka/sem/sam003804>

●注意事項：-携帯電話のメールアドレスを登録される場合、受信拒否にならないように、no-reply@otsuka.jpからのメールを受信できるように、設定のご確認をお願いします。
-返信がない場合は、応募が完了していない可能性がありますので、事務局へお問い合わせください。

no-reply@otsuka.jp（受講証通知・修了証発送通知・問い合わせ返信メール）

問い合わせ先

「熱中症対策アンバサダー講座事務局」 URL：<https://opnc.info/hamb>
TEL：0120-610-025（通話無料／10～18時受付、無休）

主催：大塚製薬株式会社 特別協力：独立行政法人環境再生保全機構 後援：環境省・文部科学省・農林水産省
協力：株式会社クラスAネットワーク

元気応援 EVENT MANUAL 2025

「元気応援イベントマニュアル」は、薬局が地域の皆さまの元気で楽しい暮らしを送るお手伝いができるような健康イベントの作り方や実際の事例を項目ごとにまとめています。このマニュアルを参考に、健康イベントを開催し、薬局が地域の健康を守る場所であるということをアピールして行きましょう。

目次

イベントの計画から実施まで

- 03 楽しいイベント実施の“コツ”
- 03 イベント開催までの流れ
- 04 LINE公式アカウントを活用しよう！
- 05 集客に案内チラシを作成しよう！
- 06 イベントの周知、集客の方法
- 07 6つのステップで簡単！元気応援イベント デザインシート
- 08 当日の役割・準備物・スケジュール

試食会・試飲会

- 09 管理栄養士による栄養相談
みやこ薬局（京都府）
- 09 日替わりメニューで開催
リヒト薬局（埼玉県）
- 09 ポスターや小銭トレイを使って告知
おくやま薬局
- 10 自社オリジナルの漢方茶の試飲
株式会社薬心堂（福岡県）
- 10 機能性表示食品で試食会を立案
れもん薬局（滋賀県）

測定会・健康チェック

- 11 肌年齢・血管年齢・脳年齢測定を毎年実施
ヒロ薬局（神奈川県）
- 11 年に一度の「骨密度測定会」
おぐりす薬局（京都府）
- 11 「薬業」連携して、血流スコープを使って「毛細血管を見て見よう」
ABC薬局 水無瀬店（大阪府）
- 12 野菜摂取チェックと握力測定を実施
いちい薬局（青森県）
- 12 ロコモチェック（立ち上がりテスト）がきっかけで運動が習慣に
小林薬局（鳥取県）

体験会・勉強会・教室

- 13 あえて薬局で通常体験しないイベントを開催
久留米中央調剤薬局（福岡県）
- 13 パーテンドーを招きカクテル教室を開催
あんず薬局（佐賀県）
- 13 大人の折り紙教室を毎月開催
天心堂梅崎薬品（福岡県）
- 14 子ども薬剤師体験を開催
フクシマ薬局（愛知県）
- 14 月に1度、アロマのハンドトリートメントを実施
オリーブ薬局（大阪府）

ウォーキング・運動・ストレッチ

- 15 リハビリテーションクリニックと散歩＆相撲部屋見学ツアー
オリーブ薬局（東京都）
- 15 協賛企業提供の賞品を獲得できるウォーキングイベント
井上薬局（群馬県）
- 15 健康アップ教室参加後に「やくぜんカレー」を販売
萬屋薬局（山形県）
- 16 2階のスペースでストレッチ体験教室を開催
かわしま薬局（鳥取県）
- 16 シナプソロジー体験教室を開催
マスカット薬局（岡山県）

イベント・コンサート

- 17 セタの短冊に願いを書こう
杉岡調剤薬局（福岡県）
- 17 認知症サポートイベント「RUN(ラントモ)」に参加
白澤薬局段上店（兵庫県）
- 17 懐かしの映画鑑賞会
まなべる薬局（宮崎県）
- 18 バイオリンとピアノのミニコンサート
げんき堂薬局（佐賀県）
- 18 ギター演奏会
岡村薬局（大阪府）

地域連携・薬局・薬剤師会連携

- 19 魚の移動販売との連携
柿の木薬局（岡山県）
- 19 地域の就労支援団体との連携
キズナ薬局（山形県）
- 19 「おかやまケンコー大作戦」事業への参加
岡山県岡山市の薬局（岡山県）
- 20 墨田区行政と薬剤師会の連携イベント
墨田区薬剤師会（東京都）
- 20 「薬局へ行こう！ウィーク」の勉強会で賛同者を増やす
川西市薬剤師会（兵庫県）

イベントテーマ別

- 21 薬局ではじめての歯周病リスク検査を実施
ラベンダー薬局（秋田県）
- 21 地域の方へ感謝 わくわく健康フェア
アイアイファーマシー（埼玉県）

メディア・SNS

- 22 地元メディアにプレスリリースを発信
ヒエズ調剤薬局（鳥取県）
- 22 ケーブルテレビの活用
オリーブ薬局（東京都）

イベントの計画から実施まで

楽しいイベント実施の“コツ”

1

目的をあらためて考える

イベントを計画するときは、やり方に気持ち先行しがちです。なぜこのイベントをするのか、あらためて目的を考えてみましょう。例えば「健康の楽しさを通じて、年齢や地域を超えたコミュニティ作りをする」など具体的な目的を設定してみましょう。

2

裏方に徹さない

裏方に回らず、積極的に企画に参加したり、お客さまと話したり、お客さま同士をつないだり、ひとりひとりが主催者であるという意識を持ちましょう。お客さまから見れば、薬剤師も事務スタッフも薬局のスタッフ。普段は聞けないことを聞くチャンスでもあります。

3

実施は準備が9割

「測定器をレンタルしなきゃ」「試飲会のためにコップを用意しよう」という物の準備だけでなく、参加者に最高の体験をしていただくための心の準備も考えてみましょう。「今日は来て良かった」と言ってもらえることが最高の褒め言葉です。

イベント開催までの流れ

プランニング（1カ月前まで）

デザインシート（7ページ）をもとに、薬局スタッフ全員でイベントの企画を考えてみましょう。スタッフの役割分担もその時に話し合って決めましょう。

実施手配（1カ月前）

会場を予約したり、レンタル備品などを発注しておきましょう。

告知・宣伝（1カ月前）

ポスター、チラシ、ホームページ、SNSなどを使って告知しましょう。地元メディアなどを活用してPRするのも効果的です。

開催準備（1週間前まで）

簡単な運営マニュアルを作成するとよいでしょう。記録として当日の様子を撮影しておくことをおすすめします。

イベント当日

笑顔を忘れずにスタッフも楽しい一日を心掛けて！記録のためにもカメラに収めておきましょう。

アフターフォロー（開催後1カ月以内）

スタッフ全員でレビュー会議を行いましょう。参加してくれた方にお礼のハガキやメールを送るなどのアフターフォローも忘れずに。薬局のHPやブログ、SNSなどに報告ページをアップすることもおすすめです。

LINE 公式アカウントを活用しよう！



LINE 公式アカウントを活用してお客さまと スマホでつながろう

LINEのユーザー数は月間利用者9,700万人(2024年9月末時点)、日本の人口の約70%が利用しています。LINEを活用して薬局とお客さまとのつながりをつくる必要があります。class A では薬局の LINE公式アカウントの活用を推進するサポートサービスを提供しています。お友達登録による薬局のファンづくり＝顧客化に挑戦してみませんか？

Web Info からダウンロードしよう！

まずは LINE 公式アカウントをこれから始めたい、またはすでに持っている方に使っていただける「薬局の LINE 公式アカウント用ポスター&リッチメニューデザイン」が Web Info からダウンロードできます。リッチメニューのデザインは 2 種類、ポスターも 3 種の中からダウンロードできます。



■LINE 公式アカウント用ポスター (3 種・パワーポイント形式)

ご希望のデザインをクリックしてポスターをダウンロードし、**赤枠の部分** を変更して使用します。

[Web Info]→[ダウンロード]→[LINE公式アカウント用ツール] よりご覧ください。



■LINE 公式アカウント用リッチメニュー ニューデザイン (2 種・jpeg 形式)

リッチメニューのテンプレートに合わせて組み合わせて使用することができます。色はカラーと単色の 2 種類。
[Web Info]→[ダウンロード]→[LINE公式アカウント用ツール] よりご覧ください。



■元気応援メッセージ メッセージ配信用画像(jpeg形式)

毎月の元気応援メッセージをLINEのメッセージ配信に活用できるように配信用の画像をダウンロードできます。前月の 20 日に Web Info にアップされます。
[Web Info]→[ダウンロード]→[LINE公式アカウント用ツール] よりご覧ください。



集客に案内チラシを作成しよう！

● チラシは手渡しがおすすめ！ です

構成を考える！

予定している大きさの紙に、手描きで簡単に下書きをしてみましょう。細かな内容まで入れこみ、下書きができれば、その内容をエクセル、ワード、パワーポイントなど、使い慣れているソフトで作成します。

デザインする！

文字に色や囲みをつけて変化をつけたり、イベントのイメージが湧くイラストや、スタッフの写真を載せるなどアイデアはさまざま。ただし、詰め込みすぎは厳禁。あくまでも見やすいように適度な余白を残すことも必要です。



イベントタイトル

タイトルは、イベントのキャッチコピーのようなもの。「行ってみたいな!」と思ってもらえるようなタイトル付けが必要。

必須項目

必須項目。わかりやすく大きめに。

開催日時・場所

出来るだけ具体的に。費用や予約が必要な場合は記載。

ここに掲示しているポスターはすべてご自由に使用できます

これらのポスターのテンプレートは参加薬局専用ページからダウンロードできます。イラストは著作権フリーですので、自由にお使いいただけます。

主催薬局情報

薬局名、住所、電話番号、営業時間、ホームページ URL、地図など。



● デザインに困ったら

チラシのデザインに困ったら、インターネットから無料でさまざまなテンプレートをダウンロードすることをおすすめします。さらに、印刷からポスティング（チラシを各自宅の郵便受けに投入すること）まで依頼することができる業者もあります。必要に応じて、外部発注を利用しましょう。

〈参考〉

- ラクスル <https://raksul.com> ※ポスティングまで依頼可能
- プリントパック <https://www.printpac.co.jp/>
- パブリ（アスクル） <https://spc.askul.co.jp/print/flyer>
- グラフィック <https://www.graphic.jp>

イベントの周知、集客の方法

● チラシ

実施する薬局や、近くのスーパーなどの店舗、幼稚園などの施設にチラシを置きます。来ていただきたい対象を考えて、チラシの置き場所を決めましょう。

近隣のお店や施設などに、チラシの設置をお願いするのも効果的です。

注意

チラシを置く際には施設の許可などが必要になります。チラシはラクスル等のテンプレートを使って簡単に作ることができます。

参考：<https://raksul.com/template>

● 対面で伝える

イベントに興味がありそうな方に声をかけましょう。薬局スタッフの知人や友人にも声をかけていただくようにします。

注意

日頃から外部のイベントにも参加し、イベントに参加する方を増やす努力も重要です。誘った人の知人の方にも来てもらえるように、詳細情報が書いてあるチラシを渡します。

● ホームページ・SNS

イベントの概要や様子などを薬局のホームページや SNS に掲載します。なるべく楽しそうな写真、おいしそうな写真を使い、思わず行きたくなるように紹介しましょう。

注意

イベントの活動状況や準備の進捗状況などを更新するようにします。スタッフが持ち回りでブログの発信をしてもよいでしょう。SNSなどと連携をすることで、より集客の効果があがります。

● DM

たくさんの人にイベントの案内ができます。日頃からイベント告知用にお客さまの個人情報を集めておく必要があります。

注意

効果を高めるために、手書きのメッセージを書き添えます。DMの案内をする場合、DMの目的を表示し、個人情報保護法を順守した配慮が必要です。

● ニュースリリース

メディア（TV・新聞・雑誌・Web サイト）にプレスリリースを送ります。地元メディアや業界メディアに取り上げてもらうことで、効果的な広報ができます。地域密着のケーブルテレビやフリーペーパー、情報誌など、地域イベントなどの情報を求めているメディアもあります。

注意

誰のための、どんなイベントで、どんなメリットがあるか、イベント自体の情報価値を検討する必要があります。どんな読者に読んで欲しいかを考え、メディアを選択します。普段から、地域の情報がどこに告知されているか、市報や区報など掲載できる場所がないかなど、チェックしておくことをおすすめします。



元気応援イベント デザインシート

イベントを企画する際には、まず目的を明確にすることから始めます。下記の6つのステップでイベントを企画してみましょう。

1. 〈WHY〉開催目的を整理する（なぜ開催するのか？）

2. 〈WHAT〉ゴールを確認する（何を伝えるか？ 何をするか？）

3. 〈WHO〉参加者を想定する（どんな人に参加してもらいたいのか？）

4. 〈WHEN〉開催日時を決める

5. 〈WHERE〉場所を決める（屋内・屋外・薬局以外）

6. 〈HOW〉予算と集客方法を決める

開催日ごとに当日の役割・準備するものなどを書き出し、スタッフで共有しておきましょう。次ページのシートを参考にしてください。

当日の役割・準備物・スケジュール

●開催日時： 月 日（ ） 時 分 ～ 時 分

●イベント名：

●役割分担：

●準備のスケジュール：

●イベント開催のスケジュール：

●準備物（掲示物・配布物など）：

●その他注意事項：

試食会・試飲会

ここに掲載した事例は各薬局で実際に取り組まれた実例です。これらを参考に皆さんもお店

管理栄養士による栄養相談

●みやこ薬局（京都府） <https://miyako-ph.co.jp/>

京都府内に10店舗あるみやこ薬局では、毎月試食会や測定会を開催している。試食会・試飲会のイベントは、大塚食品のマイサイズをはじめ、各店舗で販売している栄養機能食品や、くず湯や減塩昆布茶、経口補水液など、季節に合わせたものを企画している。

イベントに合わせて管理栄養士による栄養相談の時間も設け、地域の健康リテラシーを高め、また食事の改善提案を行うことで、地域の方の健康維持や未病予防に大いに貢献している。予約が必要なイベントでは、処方せんを持たないお客さまから事前に予約が入るという。

年4回発行の「管理栄養士だより」や、いつでも管理栄養士による相談ができる会員制の「みやっこ倶楽部」などの薬局の幅広い健康支援活動につながっている。



季刊で発行している管理栄養士だよりの「彩食健備」は彩りある食事で健康な体が備わるようにという思いが込められている

日替わりメニューで開催

●リヒト薬局（埼玉県） <https://sunarx.co.jp/licht/>

「薬局へ行こう！ウィーク」期間中の1週間、日曜日を除き日替わりメニューでイベントを開催したリヒト薬局では、さまざまな商品の試飲・試食会も管理栄養士のスタッフが中心となり実施した。

「もちり麦」の試食会では、ひと口大に丸めたおにぎりを、提供の間際まで炊飯器で温かく保温して食べやすさに工夫を凝らしている。測定会では、測定結果を伝えながら、管理栄養士が食事や運動の提案をすることで、リヒト薬局が健康相談窓口であることの意識付けにも繋がっている。



「もちり麦」の商品説明を加えながらの試食提供

ポスターや小銭トレイを使って告知

●おくやま薬局（滋賀県）

2023年の「薬局へ行こう！ウィーク」の活動でははじめて「もちり麦」の試食会にチャレンジした。試食会では通常のもちり麦入りおにぎりと、コーン入りのおにぎりの2種類を用意した。店内に多数貼られたポスターや小銭トレイを使った告知などが功を奏し、当日は試食会を目当てにたくさんのお客さまが足を運ばれ、20個ほど販売することができた。後日もリピート購入されるお客さまから食事に関する問い合わせも増え、試食会開催の手応えがあったという。

おくやま薬局では、奥山顕義薬剤師の結婚を機に管理栄養士の資格を持つ妻の博美さんが加わり、積極的に栄養相談の取り組みを始めた。調剤の待ち時間に積極的に声掛けを行ったり、毎月作成する栄養に関するフリーペーパーを配布するなどの活動で、「管理栄養士に栄養相談ができる薬局」としての認知が浸透し始めているという。



朝食の写真を見せて相談する男性

独自のイベントを開催し、地域の皆さんへアピールしましょう。

自社オリジナルの漢方茶の試飲

●株式会社薬心堂（福岡県） <https://www.yakushindo-job.jp/>

薬心堂の取り組みとして特徴的なのは、医療事務の役職名「メディカルパートナー」である。その仕事も名前の通り事務だけではなく、健康イベントを実施する際には自社オリジナルの漢方茶の試飲を積極的に呼びかけたりするのが中心的な役割である。薬心堂薬局伊田店では、漢方カフェを併設する漢方薬を 100 種類以上揃えた薬局であるため、自局で作る漢方茶の他に、地元の人の手作りのアクセサリやお味噌、季節によっては筍まで置いていることもある。

薬剤師も、メディカルパートナーも、薬心堂のスタッフはみんなが同じ理念と目標を持っているため、イベント開催時には薬剤師とメディカルパートナーが共にチームメンバーとしてそれぞれの役割を担っている。



店舗のひとつ、さかい調剤薬局では「薬局へ行く！ウィーク」の期間中に 3 種類の漢方茶の試飲をメディカルパートナーが行った

機能性表示食品で試食会を立案

●れもん薬局（滋賀県） <https://www.e-classa.net/lemon-yakkyoku/index.html>

服薬指導の際、一人暮らしの方が「食事に手間と時間がかかってしまい、十分に栄養が摂れていない」という話を聞きとったことから、試食会を立案。大塚食品の「マイサイズプラスサポート」を試食してもらった。

実際の企画・運営は事務スタッフを中心に行なったが、「手軽で便利でこれならいいわ」「塩分控えめなのに味はしっかりしている」「孫が来るから一緒に食べられるのがいい」など、普段聞けない生活の話も聞くことができた。中にはダイエット食と勘違いしている人もいたが、事務スタッフが商品の説明をきちんと行い、栄養摂取の大切さについてお話できる機会となった。



大塚食品「マイサイズプラスサポート」を試食提供



薬局で商品販売や食事や栄養の相談ができることをアピールしましょう

1. 店内のポスターだけでなく、薬局の Web サイトや LINE 公式アカウント、その他の SNS を活用して 試食会・試飲会の告知をしましょう。サンプルなどのお土産がもらえることも告知すると集客につながります。
2. 管理栄養士さんがいる薬局では、定期的に管理栄養士による食事相談会を開催し、カレンダーなどで告知することで「食事の相談ができる薬局」として地域の方に認知してもらえます。
3. 「みんなのヘルスケア—食事と栄養—」（class A 会員限定）を活用してミニセミナーを同時開催すると、試食とともに毎日の食事と栄養の大切さを知っていただく機会になります。

みんなのヘルスケア Web Info>基本サービス>みんなのヘルスケア

測定会・健康チェック

肌年齢・血管年齢・脳年齢測定を毎年実施

●ヒロ薬局（神奈川県） <https://www.e-classa.net/hiroyakkyoku/index.html>

ヒロ薬局では毎年の「薬局へ行こう！ウィーク」に健康イベントや測定会・健康相談会を実施している。測定機器は神奈川県薬剤師会の協力を得て、貸出してもらっている。毎年測定することが周知されてきており、前年の測定結果と比較して「今年の数値はよくなりましたよ」とお伝えすることで、毎年の健康のバロメーターとして測定イベントを活用している。

イベントの企画から準備、実施まではこのイベントマニュアルの「イベント当日の役割・準備物・スケジュール」（08 ページ）を活用して、スタッフ間で共有できるようにしていた。



肌年齢計・血管年齢測定計・脳年齢測定計を設置し、無料で測定できるコーナー

年に一度の「骨密度測定会」

●おぐりす薬局（京都府） <https://www.e-classa.net/ogurisu/index.html>

相談薬局として創業していたものの、近年では調剤中心でOTCの相談・販売が減少していたため、処方せんがなくても来店いただけるように年に1度の「骨密度測定会」を実施している。

測定後は結果をもとに食事や運動などについてお客さまにアドバイスをしたり、骨に関する説明資料や class A が提供する「みんなのヘルスケア 一骨粗鬆症」のスライド資料を使って説明をするなど、地域の皆さまに「薬局＝相談できる場所」だと気づいていただける機会になっている。



測定後、食事や運動などのアドバイス。お客さまと一緒にドキドキ……

血流スコープを使って「毛細血管をみてみよう」

●ABC 薬局 水無瀬店（大阪府） <https://abc-ph.co.jp/index.html>

「薬局へ行こう！ウィーク」の期間中、「毛細血管をみてみよう」イベントを実施、血流スコープを使って指先の血流をお客さまと一緒に画面を見ながら確認する。毛細血管のねじれ・太さ・濁りなどから、薬剤師と管理栄養士が健康のアドバイスをを行い、お客さまの状態に合わせたヘルスケア商品をプレゼントした。

はじめは自身の血流チェックに怖がっていたお客さまも、画面で血流をしっかりと目視できることで、スタッフのアドバイスに熱心に耳を傾けられる姿勢に変わっていったという。



測定結果だけでなく、日頃の生活習慣や悩みなどの話が聞けた

野菜摂取チェックと握力測定を実施

●いちい薬局（青森県） <https://ichiidrug.co.jp/>

いちい薬局鯉ヶ沢店では、野菜摂取チェックができるカゴメの「ベジチェック」を使って測定会を実施した。測定結果をもとに、日頃からの野菜摂取や食物繊維摂取の大切さをお伝えし、もちり麦の試食とともに「毎日の主食で食物繊維が取れますよ」などのアドバイスとともに販売に繋げている。いちい薬局鶴田店では、握力計を置いて握力測定を実施、ランキング表を店内に掲示してアピールした。どちらもイベント期間中、Instagram でイベントの様子を配信し、気軽に立ち寄れることをアピールした。



手のひらを置くだけで測定できる「ベジチェック」をレンタル



握力測定のランキング表

ロコモチェック（立ち上がりテスト）がきっかけで運動が習慣に

●小林薬局（鳥取県） <https://kobayashipharmacy.jimdoweb.com/>

「薬局へ行こう！ウィーク」の期間中に実施するイベントは、日々の業務の中でできる範囲で実施することを念頭におき、スタッフの興味のある部分を話し合いながら企画している。

椅子に座って片足を上げて立ち上がりテストを行い、ロコモ度をチェックする測定会を実施すると、イベントが終わって1カ月ぶりに来局したお客さまが、自ら立ち上がりテストに再挑戦することとなった。この薬局で体験したロコモチェックがきっかけで、筋力が弱っていることを自覚し、意識的に毎日2階の階段を上がるなどして身体を動かす習慣をつけるようになったという。薬局でのイベントが行動変容につながる事例となった。



椅子に座わり片足を上げたまま立ち上がる



測定機器はレンタルがおすすめ

1. 測定機器は、地域の薬剤師会などで貸し出しをしているところもありますが、レンタルしているところもあります。
●糖化年齢・肌年齢測定など：メディケア 24 <https://medicare24.co.jp/>
●ベジチェック：カゴメ <https://healthcare.kagome.co.jp/service/vege-check>
2. 歯周病リスク検査キット「アドチェック」[※]を使って、お客さまの現在の口の健康状態を知っていただく測定会も行えます。[※]「アドチェック」はメディパルグループで取り扱っています。MP 商品コード：47533092
3. 骨の健康度チェックの測定会では、「みんなのヘルスケア—骨粗鬆症—」（class A 会員限定）を活用してミニセミナーを同時開催すると、測定値から骨の健康の大切さを知っていただく機会になり、受診勧奨につながることもあります。
みんなのヘルスケア Web Info>基本サービス>みんなのヘルスケア

体験会・勉強会・教室

あえて薬局で通常体験しないイベントを開催

フラワーアレンジメント・ヘッドマッサージ&ポイントメイクアドバイス

●久留米中央調剤薬局（福岡県） <https://www.e-classa.net/kurume-chuo/index.html>

久留米中央調剤薬局では、「薬局へ行こう！ウィーク」の期間のイベントとして、あえて薬局で通常体験したことのないイベントを開催し、薬局へ来たことのない方の参加を促す機会となった。

また、薬のことではなく、いつもと違ったイベントや体験会を共有することで患者さんとはより親密な関係ができ、次回来局の時に会話が増える効果ができた。



メイクアドバイス



健康講座

バーテンダーを招きカクテル教室を開催

●あんず薬局（佐賀県） <https://www.anzu-pharmacy.co.jp/>

あんず薬局では、「薬局へ行こう！ウィーク」の期間、毎日違うイベントを開催、その中のイベントとして、県内のバーテンダーを講師に招き、自宅で簡単に作れるオリジナルカクテル（ノンアルコール）教室を開催した。子供から高齢の方まで幅広い年代の方が参加し、終始笑顔で楽しめる会となった。

また、イベントをきっかけに初めて薬局を訪れる方もあり、「身近に相談ができる居心地よい薬局」を体験していただいた。



オリジナルカクテル教室

大人の折り紙教室を毎月開催

●天心堂梅崎薬品（福岡県） <https://tenshindo-pharmacy.com/>

地域の皆さまへ向けた健康づくりのサポートとして、脳の活性化のための大人の折り紙教室を毎月開催しており、毎回多くの方が参加する人気のサークルとなっている。

その集客の要になっているのがスタッフのチーム力にある。手作りのチラシはもちろん、来店時のコミュニケーション、来店後に出す手紙など、常にお客さまと接する時間と機会を逃さない。



人気の折り紙サークルは、和やかなコミュニケーションの場になっている



折り紙サークルの作品集

子ども薬剤師体験を開催

●フクシマ薬局（愛知県） <https://www.e-classa.net/fukushimaph>

フクシマ薬局では普段あまり知られていない薬局のことや薬剤師の仕事を知ってもらうために、「子ども薬剤師体験」を開催、当日は5歳から10歳までの3時間の予約枠が20名の参加で埋まった。体験用分包機はメーカーよりレンタルし、子供用の白衣は特別に用意した。

PTP包装した子ども用チョコを薬剤に見立て、オレンジジュースを使って水剤として計量するなどの体験を行ってもらった。一緒にきた保護者の方にも喜んでもらい、「普段もらっている薬のことや薬局のことが身近に感じられてよかった」という声が聞かれた。



地域の子どもで予約枠がいっぱいに。保護者の方にも好評だった

月に1度、アロマのハンドトリートメントを実施

●オリーブ薬局（大阪府） <https://www.e-classa.net/olive-amika/index.html>

オリーブ薬局では、管理薬剤師の近藤崇社長が薬とヘルスケア商品を、アロマセラピーインストラクターの資格を持つ妻の沙織さんがアロマセラピーで、地域の方の心と身体の健康を支援している。

薬局内では月に1度のイベントとして「日本産アロマのハンドトリートメント」を実施し、「薬局」と「アロマ」を結びつけている。



日本産のアロマを取り扱っている



アロマハンドトリートメントは依頼があれば出張講座も行う



普段薬局を利用しない人に来てもらう絶好の機会に

1. 薬局での体験会や教室は、あえて薬局で通常やらないテーマを用いると、薬局を利用したことがない方々にも来ていただける絶好の機会になります。薬局のスタッフや近隣の方に声がけして講師になっていただける方を探すところからイベントを企画するのもよいでしょう。
2. 子ども薬剤師体験を実施する際、ユヤマにて無料で子ども薬剤師体験用の分包機の貸し出しもあります。
【お問い合わせ先】(株) ユヤマ営業企画部 担当：吉見隆宏 06-6332-2580
3. アロマハンドトリートメントは、お客さまとのコミュニケーションを図るためにも有効です。ハンドトリートメントは資格がなくても行えます。事前にスタッフ間でよく練習をしましょう。
【簡単！】ハンドマッサージの手順方法2人用 | 資生堂 <https://www.youtube.com/watch?v=nB9DWaan1YA>

リハビリテーションクリニックと散歩&相撲部屋見学ツアー

●オリーブ薬局（東京都） <http://kenbikan.co.jp/>

オリーブ薬局では健康サロン「オリーブカフェ」を毎月実施していたが、さらにカフェの参加者と一緒に近隣を散歩するようになり、「オリーブカフェ・さんぽ」は人気の健康イベントとして定着していた。

コロナ禍の3年間はやむなく活動を休止していたが、2024年6月に再開し、特別企画として、運動器リハビリテーションクリニックとのコラボレーションにより、墨田区内にある相撲部屋の鳴戸部屋を見学するツアーを実施した。参加した皆さんは1時間近く真剣に朝稽古の様子を見学し、稽古後には力士の方への質問タイムが設けられ、「どうやって体を大きくしているの?」「四股を踏む時に足がよく上がるね」など楽しい会話で盛り上がっていた。



鳴門部屋の前で全員で記念撮影

協賛企業提供の賞品を獲得できるウォーキングイベント

●井上薬局（群馬県） <https://oriduru.com/>

「前橋歩き愛です」と題したこのイベントは、専用の歩数計を持ってウォーキングをし、歩数に応じて協賛企業提供の賞品を獲得する。チェックポイントでスタンプを獲得したり、クイズに答えてボーナス歩数がもらえるといった、参加者がゲーム感覚で楽しみながらウォーキングができる。イベント当日以降も「歩き愛です」の歩数計を薬局に持参することで、パートナー企業によるサービスや優待が受けられる。

参加した150名は、お子さん連れからカップル、アクティブシニアと幅広い年代層の方で占められ、中には隣県から参加している人もあった。96%の高い満足度で、次回もぜひ参加したいとの期待が多く寄せられた。



「前橋歩き愛です」と題したイベントは参加者がゲーム感覚で楽しみながらウォーキングができる

健康アップ教室参加後に「やくぜんカレー」を販売

●萬屋薬局（山形県） <https://www.yorozuya-yakkyoku.jp/>

萬屋薬局では、調剤に留まらず、訪問看護ステーション、認定栄養・ケアステーション、カフェの営業などを実施している。毎月開催している「健康アップ教室」では、行政との連携も実現。提携する医療機関から健康運動指導士らを招き、カフェスペースを活用してエクササイズなどを実施。さらに毎週水曜日は季節に合わせた萬屋薬局オリジナルの「やくぜんカレー」の販売も行っており、健康アップ教室参加後にこのカレーを食べるのを楽しみにしている参加者も多いという。

コンテンツは多様で「珈琲の健康効果」や「川柳コンテスト」など健康を楽しむ「よろずごとイベント」を開催しており、積極的な健康情報発信を行っている。



毎週水曜日にはオリジナルの「やくぜんカレー」を販売している

2階のスペースでストレッチ体験教室を開催

●かわしま薬局（鳥取県） <https://www.kawashima-ph.com/>

かわしま薬局はカフェとコミュニティスペースを併設した2023年4月に開局した新しいスタイルの薬局である。「健康の森」をイメージして作られた2階のスペースで週に2回「スマイルブルーム」という体操教室を開催している。

「薬局に行こう！ウィーク」の期間中にもストレッチ体験教室を開催し、教室に参加した多くの方がまた参加したいと、週に2回の「スマイルブルーム」へのお申し込みをされるなど、日頃の薬局での活動を周知するよい機会になっていた。



30分のストレッチ体験で、身体の歪みが解消できたという体験者も

シナプソロジー体験教室を開催

●マスカット薬局（岡山県） <https://muscat-pharmacy.jp/>

岡山県にあるマスカット薬局では、「薬局へ行こう！ウィーク」の期間中、各店舗ごとに健康イベントを企画し、開催している。児島店では、「シナプソロジーでいつもイキイキ♪脳と体の健幸体操」と題し、シナプソロジー体験教室を開催した。

シナプソロジーとは「2つのことを同時に行う」「左右で違う動きをする」といった普段慣れない動きで脳に適度な刺激を与え、活性化を図ります。複数人で楽しく行うことで、感情や情動に関係した脳も活性化され、認知能力や運動機能の向上と共に、不安感の低下も期待できる体操です。

コロナ禍で家にこもりがちになっていた方々も、いきいきとした表情で運動を楽しんでいる姿があった。



シナプソロジーは、どんどんステップアップして脳を活性化する運動（児島店）



定期開催で運動やウォーキングの習慣を作る

1. 運動やウォーキングの習慣を作ることは大切ですが、なかなか自分ひとりではやらないものです。薬局で定期的イベントとして開催することで、習慣化し、健康になったという声も数多く聞きます。ぜひ定期的に薬局でイベントとして開催することをおすすめします。
2. 薬局内で実施するスペースがない場合は、屋外や公共施設を利用してみましょう。薬局に集合して目的地まで歩くイベントとしてもいいでしょう。その際には、事前にコースや施設をチェックしておきましょう。
3. シナプソロジーインストラクターに講師を依頼すれば、ご自分の地域で開催することができます。
シナプソロジーインストラクター 講師依頼：<https://synapsology.s-re.jp/lecture.request/>

イベント・コンサート

七夕の短冊に願いを書こう

●杉岡調剤薬局（福岡県） <https://www.e-classa.net/sugioka-ph>

杉岡調剤薬局の取り組みでユニークなのは「七夕神社奉納の短冊に願いを書こう」のイベントだ。薬局内には七夕の竹笹が飾られ、用意された短冊に思い思いに願い事を書いてもらう。そして7月7日の七夕の日に近隣の「七夕神社」に短冊を奉納する。保険薬局が「地域の縁側としてふらっと来られて交流の場になるように」というのが願いだ。そのために「薬局へ行こう！ウィーク」のこの機会を活かし、お薬だけでなく日常からのつながりを作る活動を行っている。

杉岡調剤薬局に飾られた竹笹には
たくさんの願い事が短冊にこめら
れた



認知症サポートイベント「RUN伴（ラントモ）」に参加

●白澤薬局段上店（兵庫県） <https://www.e-classa.net/hactacdanjyou/index.html>

RUN 伴（ランとも）は、今まで認知症の人と接点がなかった地域の住民や企業、商店などが、認知症を生きる本人や家族、医療福祉関係者などと一緒にタスキをつなぎながら走る、まちづくりのイベントである。

白澤薬局段上店では、日頃から認知症サポーター養成キャラバンメイトとして「認知症サポーター養成講座」を一般の方や大学、病院の職員向けに定期的に行ったり、市民向けに講演を行ったりしているが、この「RUN 伴」の中継点に白澤薬局がなることで、一般の方の認知症への理解を深める一助を担っている。



白澤薬局を「RUN 伴」中継点に提供

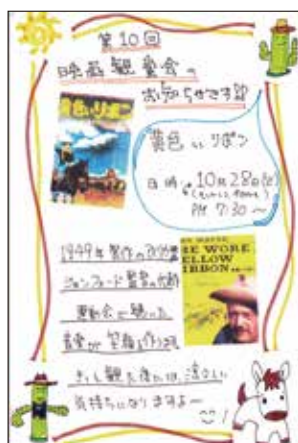
懐かしの映画鑑賞会

●まなべる薬局（宮崎県） <https://mannabell.com/>

まなべる薬局は「来るだけで元気になって、元気がもらえる場所に」という思いで、地域の人たちに宮崎大学吹奏楽部のコンサートや、クリスマスコンサートなどのさまざまなイベントを開催している。

「懐かしの映画鑑賞会」では、著作権切れの映画の上映会を定期的に開催している。上映前には当時の新聞記事や音楽の情報を事前に調べてご案内し、上映後はおしゃべりタイムを設けて上映当時にタイムスリップして若返ってもらうねらいがある。

※映画によっては字幕や挿入歌の著作権が放棄されていない場合がありますのでご注意ください。※新聞記事の紹介についても制限事項がありますので利用の際はご注意ください。



上映前には薬局スタッフが上映当時の状況を解説

バイオリンとピアノのミニコンサート

●げんき堂薬局（佐賀県） <http://genkido-ph.jp/>

2017 年、「薬局へ行こう！ウィーク」の初年度のイベントとして「バイオリンとピアノの癒しの音楽」のミニコンサートを地域のリサیتال会場を借りて開催し、約 140 人の地域の方が参加する大きなイベントになった。

コンサートでは、薬剤師による「生活習慣病患者さんに関わるお薬の話」や歯科医による「安心して食べられる口づくり」などの講演も実施、ロビーでは動脈硬化進展度チェックやお薬・栄養相談なども実施し、約 140 名の方に薬局が地域の健康を守ることをアピールするきっかけとなった。



地域の人、140 人ほどが集まった。会場ロビーでも相談会を実施した

ギター演奏会

●岡村薬局（大阪府） <http://www.suita-okamura.com/>

岡村薬局では、2019 年の新春イベントとして「ギター演奏会」を薬局で開催した。薬局の待合室に椅子を並べただけの会場であったが、平日の昼間の開催に 16 名の方が参加された。バンドの方々とお客さまと一緒に歌を歌い、心を通わす楽しいひとときを共に過ごす機会となった。演奏会を引き受けてくれたバンドの方々は、岡村俊子社長の亡きご主人の仲間たちで、ボランティアで演奏会を引き受けてくれた。



待合室に椅子を並べて演奏会を開催。バンドメンバーは亡きご主人の仲間たち



季節の祭事や街で開催するイベントに合わせて開催

1. 薬局独自でイベントやコンサートを企画するのは大変です。できれば季節の祭事（お祭りやクリスマスなど）に合わせて開催したり、街や商店街で開催するイベントに合わせて開催するといいいでしょう。
2. 薬局以外の場所で開催する際には、薬の相談コーナーなどを併設して、いつでも薬局に相談に来てもらえるようアピールしましょう。
3. 「薬局へ行こう！ウィーク」の際のイベントでも、薬局以外のところとコラボレーションして開催する事例も見られました。

地域連携・薬局・薬剤師会連携

魚の移動販売との連携

●柿の木薬局（岡山県） <https://p-kakinoki.jp/>

「薬の前に食事が大切」であることを日頃から唱えてきた柿の木薬局。10年ほど前、地域の食を支えていたスーパーマーケットがなくなり、高齢者が多いこの町で食品の買い物がとても不自由になっていることに問題を感じ、柿の木薬局が地域の皆さんに「良い食」を提供したいという思いから行動を開始した。週に1回、地域の魚屋さんの行商による移動販売を呼んで地域の方に利用していただく取り組みも始めた。



(左) 塩梅号が来る日を薬局のSNSで告知



魚の移動販売「塩梅号」を毎週楽しみにしている地域の皆さんは多い

地域の就労支援団体との連携

●キズナ薬局（山形県） <https://www.e-classa.net/kizunapharmacy2020/index.html>

キズナ薬局では、ある引きこもりの方を介して知った地元米沢の就労継続支援のNPO法人「から・ころ」との連携で、ここで作られた英字新聞のエコバッグを「薬局へ行こう！ウィーク」の際に配布した。

また、別の就労継続支援事業所である「ラ・ヴェリタ」とも連携し、ラ・ヴェリタで作られている焙煎コーヒー豆をオリジナルパッケージで配布した。これにより、薬局へ来る人に、地元の就労継続支援事業所の活動を広く知ってもらうきっかけになり、若者の社会復帰を手助けする薬局となっている。



英字新聞のエコバッグ



「ラ・ヴェリタ」で焙煎されたコーヒー豆は常時薬局で販売。もちり麦のフェルト細工はスタッフの手作り

「おかやまケンコー大作戦」事業への参加

●岡山県岡山市の薬局（岡山県） <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000008033.html>

「おかやまケンコー大作戦」は2019年から実施されたソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）を活用した健康ポイント事業である。企業や金融機関、行政がそれぞれの強みや資金をいかし、健康づくりのためのサービスが身近な場所で受けられる環境を整え、市民の皆さんに日常生活に健康的な習慣を取り入れていただくことで、自然に健康になれるまちの実現を目指した事業である。

「薬局へ行こう！ウィーク」の期間中に、岡山市内の薬局がこの事業に参加し、店頭に掲げののぼりを立てて岡山市と連携したイベントであることをアピールし、行政と連動した健康事業活動を行っている。



「薬局へ行こう！ウィーク」のフラッグと「ケンコー大作戦」ののぼりを一緒に掲げた（マスカット薬局東古松店）

墨田区行政と薬剤師会の連携イベント

●墨田区薬剤師会（東京都） <https://sumiyaku.jp/>

墨田区薬剤師会では早くから墨田区との連携を図り、「薬局へ行こう！ウィーク」と「すみだ薬局とつながろう」のキャンペーンを連携させるイベントを企画、会長である浅尾一夫さんが薬剤師会と行政のハブとなり、関連するさまざまな部署との地道な連携を行っている。

「すみだウォーキングマップ」の配布とウォーキングの啓発活動や、「ほっぴステップ！元気応援ガイド」の配布とフレイル対策の啓発など、薬局を発信源とした健康活動を墨田区と連携することで、地域に住む人々の健康を支えるのが薬局であることに貢献している。



「すみだ薬局とつながろうキャンペーン」に参加した薬局で配布されたパンフレット

「薬局へ行こう！ウィーク」の勉強会で賛同者を増やす

●川西市薬剤師会（兵庫県） <http://kawanishiyaku.or.jp/>

2019 年から川西市薬剤師会では「川西市として、地域の薬局が一丸となって活動を実施する必要がある」と考え、薬剤師会所属の 59 薬局に対し、「薬局へ行こう！ウィーク」の参加を呼びかけた。

薬剤師会の中で勉強会を実施し、「薬局へ行こう！ウィーク」の活動の意義を伝え、13 の薬局がこの活動に共感し、参加した。



意気込みを見せる、川西市薬剤師会会長の樋口淳一さん（右）と副会長の藤本高弘さん



日新堂薬局の藤本智子さん（川西市薬剤師会副会長）は、お薬に関するミニセミナーを初開催



普段からのつながりを大切に

1. 多方面との連携したイベント事例に共通するのが、「普段からのつながり」があることです。地域の薬剤師会はもちろん、薬剤師会と行政とのつながり、NPO 法人や各支援団体とのつながり、地域のスーパーや商店街とのつながりなど、あらゆるところにつながりのきっかけはあります。
2. 薬局から連携したいところにイベント企画を持ち込む例もありますが、地域のイベントの会場として、薬局の場所を提供する連携の仕方もあります。多方面と連携したイベント企画は、次のイベント企画に発展することもあり、連携の輪が広がる機会を作ります。

イベントテーマ別

薬局ではじめての歯周病リスク検査を実施

●ラベンダー薬局（秋田県）<https://pands.jp/shop/shop-00037/>

「薬局へ行こう！ウィーク」の期間中に10名限定で歯周病リスク検査を実施した。薬局ではじめての歯周病リスク検査であったが、スタッフが測定結果の見方や数値の説明を丁寧に行い、歯周病がもたらすさまざまな病気や、口腔ケアの仕方や歯磨きの習慣などをアドバイスした。

また普段から行っている管理栄養士による栄養相談（無料）も同時にアピールし、薬局を活用して健康になってもらう機会となっている。



気軽に相談ができるよう工夫されたポスター



測定結果を丁寧に説明

地域の方へ感謝 わくわく健康フェア開催

●アイアイファーマシー（埼玉県）<https://aiiai-p.net/>

アイアイファーマシーで開催された「ワクワク健康フェア」は、地域の方々へ何か日頃の恩返しができないか、という気持ちからスタートしたものだ。

当日はコロナ禍で開催できなかった4年分を取り戻すかのような賑わいで245名の方に参加いただく大きなイベントとなった。フェアの運営もスタンプラリーでさまざまな体験コーナーやゲームコーナーを設け、参加者を飽きさせない工夫が見られた。



案内チラシは事前に上尾市内の幼稚園や小学校など15箇所に配布した



たくさんのワッペンやカラーペンを使って自分だけのトートバッグを作る



イベントのテーマと目的を明確に

1. イベントの企画に重要なポイントは、「イベントのテーマと目的を明確にすること」です。イベントのテーマと目的を明確にすると、どんな人に参加してもらうのか、その人たちに参加してもらうためにどのような告知をすればよいかなど、その後の企画・運営がスムーズになります。
2. 07ページの「6つのステップで簡単！元氣応援イベント デザインシート」を使って、イベント企画を考えてみましょう。デザインシートの1と2をまず決めることで、具体的な3～6のステップを考えやすくなります。
3. アイアイファーマシーの「わくわく健康フェア」では、13のイベントコーナーを持ち、それぞれのスタッフが担当して企画から準備、当日の運営までを進めていました。大きなイベントになるほど、準備と役割分担が重要です。08ページの「当日の役割・準備物・スケジュール」を活用しましょう。

地元メディアにプレスリリースを発信

●ヒエズ調剤薬局（鳥取県） <https://e-classa.net/hiezupharmacy>

ヒエズ調剤薬局では、6月の「薬局へ行こう！ウィーク」のイベントとして歯周病リスク検査（アドチェック）の体験会を開催する旨を地域のメディアにプレスリリースとして発信したところ、山陰放送の夕方のローカルニュース番組「テレポート山陰」の取材を受けることになった。6月6日放映の番組内で「薬局へ行こう！ウィーク」と「口腔ケア推進活動」について3分ほど丁寧に紹介された。



放映の様子

ケーブルテレビの活用

●オリーブ薬局（東京都） <http://kenbikan.co.jp/>

「薬局へ行こう！ウィーク」が始まる4日前の5月26日、墨田区のケーブルテレビ「J:COM チャンネル」に出演を思い付き、墨田区薬剤師会の活動に関わりがあった区議会議員に相談したところ、ケーブルテレビの担当者につないでもらい、出演が実現した。

取材では、スタッフ全員とイベントをサポートしてもらう管理栄養士の方にも登場いただき、ウィークのイベントを告知することができた。



スタッフが出演し、「薬局へ行こう！ウィーク」実施をPR



メディアの活用にはニュースリリースの発行が有効

1. メディア（TV・新聞・雑誌・Web サイト）に取り上げられるためには、ニュースリリースを発行して送ることが重要です。地元メディアや業界メディアに取り上げてもらうことで、効果的な広報ができます。
2. 地域密着のケーブルテレビやフリーペーパー、情報誌など、地域イベントの情報を求めているメディアもあります。
※Web Info にニュースリリースのひな型があります。

Web Info>元気応援プロジェクト>薬局へ行こう！ウィーク

「薬局へ行こう!ウィーク」公式サイトから 参加しよう!



「薬局へ行こう!ウィーク」は健康づくりに薬局を活用してほしいという思いから、薬剤師を中心に集まった「薬局の未来を創る 明日の委員会」の発案で始まりました。すべての保険薬局が参加可能です。ぜひご参加いただき、一緒に薬局の存在を地域にアピールしましょう。

お問い合わせ

株式会社クラスAネットワーク

TEL: 03-5778-9388 FAX: 03-6368-5322

e-mail: info@i-classa.com

受付時間: 月～金(祝日除く) 9:00～17:00